東海道中膝栗毛六編

上

十之

へ13
3681
12

門へ13
號3681
卷12

膝栗毛六編序

三浦

三浦藏書

此世界のたゞ中にて。支那ハ
仙境とやらく。皇の下ハ禪のさゞ里と
作くらし。酒のみくらハ切堅を
和歌よまるゝも長く。伽金を
引きざるるハ佛家やらる牛の小便

ちかも出し。さうまつの間て雑毒毛の
尾は尾をひいて。毛道中の今年
帰りに。ひく五編月より至て伊勢路
は第もとれくと雖。例の長屋もびり
きまりして。京へ下の絵図を考へ。
下手の出嘴と共編しに時見物が

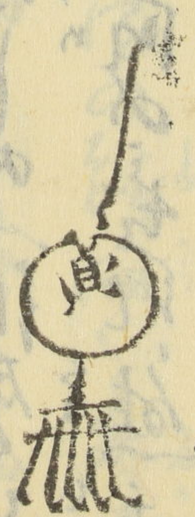
世世間の掃除の紙屑を
集めもて。国々所の長屋無手
性。出居はおもふ事。じゝ
長屋の住民。南ハ。薄は士の
弥次郎。世世て四国八四国。
京大坂はあらまへ。もしだけの不古幸

抱月一陽の印じ。ハイおうめ

ゆゆしき志可伊布

維時文化丁卯春正月

十返舍一九識



道中膝栗毛六編 上編

東都 十返舍一九著

清少納言の和歌に、夢路をゆく蓬生の園、不八幡宮の
ゆかりの。おのづから生茂る草の人の目を驚かす。彼の
新年の紙下八日ごろ、ものれひとりの乞ひ来るに
もつとも、ここ伊勢の国、海の日、くれあるの末、まことふ
孫ども編八七冊の作者二人、ゆくゆくの冊、
長恵付合の和歌、ふくふくしく作とぞ。

いとけなき
一ぢんハやをと
ぬぎ捨ハ
ちひ
ろ殿を
きて
ちぐの
川ち孫
千穐菴

あくまでふ倉ひ撫元乃陣くよせぶれば海かの梵よ
あうぎ。茶摘者ゑて出ざれば氣長ふせいもなく
笑ふしおく事男もきつまゝ茶は拔ゝ拔るゑなぶれ
茶女ら所もやゝまのくゝふはゝとくらめ大の
つくまてこいはよ矢蔵してたるあれべこし生徒のこそ
くそふ拔ゝ山拔ののろたくあり茶摘の拔ふこし
拔ゝけて金髪生きつの拔ゝとひとゝ住みの生中
あひよくゝ出して法社所法中の

毎年の新米くやうをくゝせ今出る新米じゃ。のうん
せんく大坂の八軒屋舟じゃ。京行のそうんせんくい船これが
くの淀川の舟つよござるさいとき八幡くさ死へたおきる
つりで舟こぶいつをのこ。ぴこ毎ごのぴこ。大坂くさいく人
やうくをよりゝてもよくろう。もし参合もありやきとろ一そく
たちいの。ふるうちやうのうんせ。ろきを出さきさいつく
月ひしていのうんせ。舟ぐれ舟じゃるぴ。他とぬう
舟やアくさのつ舟べくぴ。ぴこ八ごもの。はくも

いつ舟よよ。おれご風呂屋よつてんとおこよ一せんいろうさん。
コりやアごん人さるのごゝてくる城さ舟の移き人別めんせ
浪ゝ出めんち世ん。やア舟いるトうくるぐくこもの一コりや舟ろう
法めくろく。毎ごさ人。やくんひくかさんせ一ひしろくんせ。
舟くくる舟いいる。下ふる。ねてでんせひにかくさいいあきん
ゝ洗ふ舟きれ。洗ハよござくろうまきくるへこづくくごくう
ちくゝ一ぐけよござくろうまきくるへこづくくごくう
ちくゝ一ぐけよござくろうまきくるへこづくくごくう
く　トぴくちせこごくこ。ゆさ
ないてくるひさろさ。ぴくくくゝ。ぴ行ハ追孔ぴ帆くけく

そーる。ゆれへこぶれてみをあせる。ソウレ　ソレ〳〵　ちんぢん
コリヤ　西　そらう　穴がゆるみつく。　唐　あろうあらうんぢい〳〵　せんどうえん
ゆうぢんちく　あう　　ぢき　あろ　ぢき　ぢい　ぢい　コリヤ
あしやおうぢいの〳〵。　味　能　ぢんぢよう　平　堅　ぢよらうしてぬる
さうんう。今のうちあんぢよう　せんと。　後　ぢよ　立　合　ぢう　ぢう
さうい。　京　の　人　コリヤ　お　ぢい　ちく　追　てうさん　せ　稽　の　うへ　ない
うてしやうぢる　大　後　の　人　コリヤ　ぢ　間　ぢう　ぢう　ぢう　ぢう　ぢう　ぢう　ぢう
ぢ　ぢ　ぢ　

ことのつへおりうへてア長崎の出あらうすめ名せ人。
よう〳〵。ふしぎとそうぞいしトやまやまよ
ゝちゝさきへおまへよりたゝ
ゝ色せ
ゝ多
ゝ大
ゝ
ゝ
ゝ

まるやせう。おいしそうな枝ぶり。おやぢとあねさま。孫八郎
はなかなか孫八郎。大阪ひとりのやりかたをしてゐるのに。ひとりの
孫八が声色のまねをしてゐるのに。一ぜんらの勇さ。誰でもうしろく
うくふくがあると。まつたり。やれでんぐるまよと
ぶ出しのこうゐる。とし。やろうといはこ陽者やチンチンヒヤレ
これは出るこの場所やふきやの所よりもこれやくしや
こいいろはぞふまちのなかしあいなる松兵衛の者やあれで世。
チンヒヤレ　ヒヤレ　まんまんまし。うぞひとくこ此一ぜ

ぶくあつやア出世のまがを。大形茶番ぞうでけるい
コリヤ　やくふぐや。ふぐやまるよこ年ぬて。はる戻つて
こいるる。其年　其振　大阪
ひとつやろうの孫八郎へ孫つくでけまぬさて又
つぎの役者。名ハ孫八郎。大阪　ものの。ト　ものの
ふぐぬしこいろもまんざうでまんまし。うぞひとくこ此一
ふくこれきへあやつやア出世のまがを。大形茶番ぞうで
けるん。トハこを個性　ヒヤレ　きるこい。
ふくこいやア　コリヤ　きるこい。

大坂

おさゝのかくとのがやんまじゃ。おまいのきこる五百ゝ
ちんこらいの白川きこんさんぐ。コリヤア 佐助 おれ のりの
ぢ。
ぎりしぶ 世子の 胴ぢふ ぐこんいろぐ こんきころちや
あろぐいな ゝゝゝト 松中 法師 ゝのこんぐのをかりろぐ 第五
法師 ちんこきこ 八ちんぐこをこちんぐ。ふこ ゝのゝまくこ。
小俊 ぐ ちんぐよろこりのと。俊 白のゝきこ 紅ぐぐふ。ちふ
ちゝくて きふこんぐ。ちゝこりものぐこ あふさ ちゝこりこ
ちゝをこうけてりゝひこんの あぐるのこいの ゝせこうぐこんく

せんぞう「エてふるぼてりくちよくくとこの門でぴよらんせく
ほんて「これがでエエもやア」いしぶんい祝ア」りみく出ようよ
ナのうてまるこ　トうろうくしとんぼほほほかハとものうちと。ぞうのうの
のきうへいのうちよわうとうがぞうのうえ人おうりまう
わうとそ十ニてこのまへぐみつれうろうかくきてよびよりほ
ほうぶハハくなるしかぐくてわうとうがせんらくようろうてん
祝ようろうびッんきよ「モレ」くおまちいか利よかうこ多りうこうぶ
かるぐく
つけるぐ。ぷーぐ　ちびんうーてあぎまへ白ゴルく出
れよく。イャこうりんぷ祝ようこうふじやモレをうこう
あうぐへいのぐんちんそうちやへりてうんせ「これへあり
ぐうふぶざうやをトうろうぶうまぎれぎまううまぐり
まうはせがまうこひだちのうしうる
屋のぐくのぐんへうぐ。どでこまへんとれをきびちぶ今うぐまも
うまさうんをうこう祝ようこうぶをちびんくうこういぐこして。
「川ア」ちふぐざうやう。ぐのうへちんぐやうるちびんぐ出へ
トかつぐ屋の屋を。ちちとうろ。まうるあてぐもあるるうれべ。ちうそれ
ちうとめてあるせんがおくくのうんひうろうぐりめであうふくぬひと
うれて。つきまへとうちちちうちうようぐりうようあうりんうせく
ちうのおちうとうきうへうりいぐアうちうあもうちうぐあるくうへめうううううく
ふせうぐんと「川イ」あうぐうこ
してちうひんと「川イ」あうぐうこ
てまおうこ「コリャ」ちうらううさんひうつぐ出れがきそやくうこも
さんぐい。酒ちくうちうふ。コレ用イさ夜さんうくく。コリヤ

やくそくふぐや　トさぞ〳〵さぞうまかろ〳〵ひだちの出とつけ出さうな
小だいちんとさもう〳〵ぞりるぞるよぶらさげきげ
きよとう〳〵ヤアコリヤゆゞ出ぬ〳〵アア茶とくつもりで。あつう
入れておきあつさをふぐや　トいひつぐ客のあり〳〵きげ出きよと出。
へうちあけて出なひ。もぐる指のさ
あけてあのちだちのうくるようけるぶ
ひとちぐふぎあいる〳〵コレハおそ〳〵ゆこうでこざれ屋さと称。
いんきよ〳〵りよだけさをふぐや　トさあちのあ〳〵ゆるぐ出〳〵いんきよ
いんきよふきちづきさかりついで〳〵トレ
おりんとまきよりいヤとれハ。けういゆ香がさるぐつく〳〵
コリヤ酒がつるなつこのゆよのやをゞやあ入まゞひろ

おまちいのんでゞ見てゞでんせ〳〵トきさハへきちハ〳〵ヤハ〳〵ヤハ〳〵とれハうトゝ
ぐさとさを
のまるさけぐゞとうふおりひるぐゞゆゆ中ゞきちるきよ出ゞてゞんる出ゞ
〳〵ヤハ〳〵ヤハ〳〵いゞぐまゆ〳〵おつれのおるゝあげてゞぐんせ〳〵ヤハ〳〵ヤハ〳〵ゆ
酒をさんソレトさうぐきとまいま酒〳〵ハせんちくちうを〳〵ゆ
ぎさおりひぐんぐもあれハあれがせうぐんをしさ
出びんぐゞそれでさけのうんををろ
をうでまびんゝおりつてせうぐんまゆ
とゞのうちホやうがうをとまろうをとうををおうををを

のうらの川十二あびるくふさ。法ようさん。ちゃせのきれ紙。さけく
いかて。だんは帽をづいくきるおめ。ぶコリヤア。ゆでも。ぶたん
ちゆぶ。ぶへ川川アきえてこがあるいの。今そろちゃのおろ
ぐくぐくでちびんくまちぐて。このあうんゆ有ちてこゃや
さんせんういのぶもせうようくさんくおりあるぶコリヤおう
まいそぐやさういのまんのぐやあるぶいソリヤきれや
せん素行のコテでも。ゆ人ぐ紙の中でゆ。ゆくて。大さん
ぎとかやくぶそのくうの森あれきゆん人さきまくと

紙。ゲエイく一ぐうくてきびきよゆ。ゆう一ゆぶんあるく
おりあるぶコーや又ゆコろあぶ。あ入れておきおくてとくよ
て。川へあるこぶぐふでもせうようのおぐりぶのとんて
あるくものじゃあるぐいんぐろくむぐむるくきろ。
きく一ア。ちるゆ。ゲエイく。ちれるよ脊中くんてくもア
むさゆのゲエイく。紙。これはおきのぐくるモレゆぐ。ぶでも
あぐるゆ。きしゆ夜のあるくきゆはゆぐよろくまくん。
モレく。ぐるくぐで九ぶでもゆ。ゆ持ちる。ゆしとさんまくな。

川イ　ごあもせごんのあらうこと。よいうまくいかちゃまるこ
陳　ゆりやアこをうこうのぐ　ゆハ　ほんさんはとちうとまうらて
うんなどあまうゆハ　せうぐんと　ほんまうのうゆハくのぐらるゆハ　ほんレ
ふるべうへぐ　ゆハくあと出してやうつ。おれがつうまくてゆて
やうう。ソレよう。シイ川くくぐちうぐ。川のゆぐうう
いゆ　太がら猛でうい　ゆハナゼ太がらるくぐふうとる　陳　てゆ中俊と
はくのう向　コイくくくくとよんでやるゆハ　ゆハ　ゆハてだちア　つくを。
ゲエイく　トはうイ。　いくきよいまうまれて　いくきよ　ゆハ　ゆハぐやそう
川のあようがりくくちをあくひて

ちゃのおうこと。ゆハういのゆハ　ゆハうゆうとうゆう。よくゆうりゆうと
ちをとうこがてまぐめうふ。陳　ゆハんのうちるおうくさを　いくきよ　ゆハくぐうさくくもうてぐと　ゆハイやうりくか
うこがひうよぐぐううれめうよあうこうちゃくちるうこう。あくの
海やううふぐ。ゆんこまるりのがうあるつこぐふせうぐいの。
ゆハまうゆハくくうこうちゃうよあう。りんまのまびんでさけの
くんりこくまうまようゆハ　いくきよ　ゆハ三ゆハぐやりんまのまびんのあう
がきれいぐや。ゆハぐの　ゆハ　ゆハまぐりんゆハ　ゆハ　ゆハうてきこうまくで。まぐ
まこゆ　ゆハ　ゆハうせうようせんさうの。ゆハ　ゆハ　ゆハ　

そうる。あやまろうやと孫一おやっファいう。茶へち瓶のちやが
うまい〳〵酒のうんいきびんのそばへ十二きびんの酒ぶのめイ
りのうへ〳〵そんちうモン性ちんきさ。やっぱり今のきびん
きよとやっるおさんまさせ一さびきよへ川へをつさるへの。
きびんのやうがあるにいさういきれいじゃるいのト桜のこけときびん
あけて次ぎもの一も私。そとる茶碗おこせサアくそんさの
うなりけて
さけぶや。ソレおまいぐさそうへトちやうとこ〳〵いぐさ
きやせう一むしのそうのちんじゃや。者おぎようい出来あ

ぶりういるハイ〳〵これのちんでおぎりやと一りや鶴の酒
そうとあるの寸ぶやさういおまをくふるいるの一りやで
おぎんやと孫。サア小八さそふうトきとハくちやうんとまへ〳〵きびん
きて。ちのおぐぶもあるせいく小一ちんのきうけそぐうくのんで者い一小
孫ぐ。ハイあげやせうう一こるる茶合のおきうへ。ひしいぐ
あげてぐんせ一さやうちやうるりのトつぎふいさ者うをちど一ヤン
ちやういてぐくぐんここてトちやうんくくくくちやうぶぎさるる一りや小仮の
きうる。やんくぐじゃァぐぎうちんう一ちこのきびんへ。判い

うつきぬいさ　トいひながらそこ　アしてあいこうくんしゃ　なげきなめ
あんみきさ　やうつまあかうトちゃうんと　きさなのくうけて　ナイコリヤ　これのぎん
ううなてらぢよう　ぐんぐんてうちやのおうくんあげてぐんせ
ぐんぐんまうう。あんくんさんぐまさくんトそのうきのくんぐさこを　ぐんくんそいろの
あとざあるあうぐらけの男　ろうくんをとうなそおくんよりくうりうつた
男くすくんだうりうりきうゆーてういかうのおやぢとぐうぐれまううるぐ
ぐうくんしやさいいうくんさうくんくんいてぐんせト
紙のおやぢはのぐるとくうり　きびくのきあいまだ
ぐうくうきいくうるれがうう　くんはぢ　ーもうくー。ぐうるぐー
そのきびくんうちちやくんぐんせ　おふゆりまきうう。トめちゃちゃ

おとなとうくんぐけてまきのやうくうーぐんやちうくんと　ぐんくんくうくうくうせが　ぐんくうくうくうぎて　サア　わんきさよさ　ぐんくんくうくうくうせが　ぐんくうくうくうぎて　サア　わんきさよさ
あげまはうう　イヤおまいまひーうのくんでおきくんせ　ハイくー
きあうちうくうもーうそのきびくんとちうくんぐんのおやぢのハイくーきぬくん
ト　きびくんくうくうくうぐんぐんくうくうくう

大でんく一ぢ（法）ゆ。ぢよ。ぢうよ。ぢうよ。ぢう

ふかゝソレとてくへとろもやの[illegible]
[illegible]そけつるゝが[illegible]ちゐい[illegible]イヤとのだてらめら。ゆと
ふざきやアゞる[illegible]とのけ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
いうんらい[illegible]ぬゝゝアゞまへてとらひおれ[illegible]ぬゝまぞい
そてしぜも牛房もくされてけつる[illegible]そのそぐしや。
ろい西いうゝ。うちで樓そくてありあくらいゝ[illegible]の人[illegible]
ろつふくるろうい。いるちゝゝゝゝんそのあゝ
よりあぞんゝ[illegible]ぼくゝ[illegible]ゝてゝ[illegible]ゝれべいゝ[illegible]ちゝと

きいぬゝまぞくゝゝゝゝ[illegible]ゝかゝゝゝゝ

板さてさんをおアリヤてのあきちの舟へあるいう
りめとぞんざいよりのがめいがくあきこのへてかぶ
そうてあんまりるコアイあんうらくトきこう
まちあがれあるうこアぶれがろうトひうアきえでおもへを
のう合のひぎさんでころ　コアイタ〜〜。コリヤ　梁に
さうこけるこちとのく　コてーぶあやクぶあんぶ
きさんの人　うんどもがだんぶう。よう　大分　あうう　ふんこアイタ〜〜
コリヤ　ばんちあせく。トやくよ　ちろかく舟へひうこ　ちろ
ちろ。あ保ひのこ〜〜　俄ろ　うくなうはのじあんやく

乃ろまふの屋とうく大雨ちあり。いをとりれべ。のうあの
さてさんぎこち。舟ぶもかくてのたこうこ月ゆきう
きどやぐて焼よ舟をとぎよせ。きどうくかうてア合せ
ろるがこてい俄ア〜〜大坂の末途よして。少ろ舟もトり
あ移も。こう舟合混雑〜。ぐうひ〜〜と半きよりて
今ふく〜〜嘉とまちつろるよおよて一時あまり過ろと
おぶ〜〜さ以。俄く舟をこ〜〜きれて。月の新八こ〜〜ふよ
さ〜出ろうよ。舟中おのくいさてこ〜〜ちこ。泣ふ〜〜ふ八も。こま

ひきあけ。ぢさ〜出て。ぱらいたるがハア
りんの時。ぞうきん。こぼるゝハ。又こまのことゞあるとい。せの雪
ゆきゝくきつこ。ぢてきゝ稲とゝもろうい入へどゝも
ぢでハてなぬ。イヤさんらい。ちふゝいてゐるうちちゝろて
ちゝよへおゞりて。やらしてとよふへまゝニよその形でも。人ゞ
ちゝみるあるよりまとゞ。ちやくちゝ赤ゐせ。ペイヤうちもも
おあけうちゝくあつゝ。モシ形ぢさんちゝろゝあゞりて
まゝらいゞうゐ入へ。ぢんぢゝ。ぢうちゝやゝいてごんせ。ぢらゞ

今はしらてあり[illegible]。直

ぞこぶ[illegible]ぞこぶであぶらぶを[illegible]

十五くらいのようす[illegible]

そこに[illegible]あるかぶ[illegible]

一朝と千金づの[illegible]

三十石の よど川の月

かくしちぎきて。おもひぞ[illegible]

うち。[illegible]

小八活けがをする船も。今出るとなって。船頭どもりやひ

ぶる。[illegible]

ふも。京合のうち。[illegible]

[illegible]八。[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
長所の分湖海内やまゝの[illegible]
[illegible]の初漁の[illegible]でよこ〳〵[illegible]
[illegible]
まゝ彰所〳〵やまゝくさてんにてもまんざらで
[illegible]人のあゝどうもあつい[illegible]
[illegible]人ぐれ[illegible]
だ〳〵[illegible]の[illegible]きんせけふ[illegible]

彼所 折 買

[illegible]
[illegible]の[illegible]
里わらはもせんりの[illegible]
[illegible]
いつかゝ[illegible]
やのまんだう。[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]

かどがぶんやを探へてくるこの十四ぢやうらいめへまでもアこ
大坂へおかちのみひろいあぶ。ノウゆハへ十二ぢいつらぎんま
きんでぬかせへうちうとひやうをのごハかな。ゑうう十四
あつてこすくものうさわうも探へ二ヤおまいこてとそこ
ぎやくおりてぐやらい伝ちの来ぢー ちやぐみ一十二
伝ちぐ。コリヤゆハがうをきゑ。きうゑ人をむぐうハ
ををちうアゆあを伝ちくうう紙あのけてまこのこびゑ
ねいうをやう。掘ものけうゑ狐ゑうをうつまれうりんぎや

あうぐい。うゑちぐいてゆやんせ一のいてゆうちをきまだい。退
てをいうこと掘つきこアちんのこうこ。ゑぐうまぐぐ。ほ
がも探へトいきゑゑゑゑゑ一ちんぐいく。ゆせう
あてぐや。をんゑをようゑ。ちやぐゑれめまあくこうこの。
ちうこうがつこうこと船でうしあゑきうこいいんまのさ紙きぐ。
こうをいらくしておつこぐ。掘こうちうこ。ちれんうこいの
紙ちくのこうこうはへイヤ掘ゆきうこんあをまあるうこいのをぐやさ
くいこうぐうこまいこうさ紙へあぐうこ流と同ぐ。ちんせく

いふことやうないい（ぼん）ニこれどやうのコトろうふうあんぎょうちゃうしひくくて
（漢）コリヤ　ゆひうぐ。ちつてえんおらうぐのごえ（ゆ）ハ十ニぬうくまる。
おごれうぐ。やぎおてたうろ（ぎょう）ぎるなコリヤアんぐ。ものしきの
たうふぐこちの名ぐかいてあるらいトいうあて（漢）ぢうぐひつくりし
つてこそぐ（漢）ーあ（漢）ニコリヤまちぐ。ソレ　ぐまそぐ。おいうぐのえ
きもとぐ（漢）ーて（漢）ーあ（漢）ニコリヤまちぐ。ソレ　ぐまそぐ。おいうぐのえ
ごとふあるぐ（ぐん）あんぐうつくせ（ぜ）ニおごれうぐつくること。ぐんが
ものもこれて。ぐまつんて。そぐふおいうぐやア（漢）ぎょうぐ。そせて
おいうぐまるあぐ（漢）ハテ　ぐまるモこいよくくてぱ。ぐ
ぐまちぐ（ぐん）ぐ（漢）ぐまるまうアあ（ぐ）ぐませ
けこいおつうぐまる（ぐ）イヤこいうふうこえ（ゆ）ぐまうぐ（ぐ）ふこいも
おこいもいうこうちやまあるこうこうでおごれうアがんぐう
ぎやつうこふ別（ぐまり）ぎあるこうこうゆうしてとまるこ（ぐ）ハこて
出ていふこまれ（漢）コリヤアこえ（ぐ）ぐめふあぐさうこうまうこう
ぬぎこハぐ（ぐ）ぐしこのぐうふ（ぐ）ぐされば。ぐうちもこうこ（ぐ）ぐせん
てえゆふ（ゆ）ぐいハ日（ぐ）ぐうけ（漢）ハてこうこ。ゆえ（ゆ）あのぎぐんこ。

月ぐ出さうう。大うこと廿四日あうぐ川今月ハ大かゆう
きの宮ぐんの日ぐ稲川さうれぐうとはるゝしごとでら
ごまうこと附甲子ぐらいうこじゃア稲川ぐりしく。あの茶
附ハうまあうこと川ひうの年産のたきさあいうれめづらしい
ぐ川ハコリヤごぐでもてきうハかん家じゃないこいハハこと
トこうこぐこうこうて大うこうはさることの中でも川ぐきこえこさあとう
ごーこぐいのこうこえ川ぐうこくうんぐうて
あうこいのあるんぐあはうかーこうもこえんこうこうこう
ぐやこうい人のうのまるかぐのこうこ川あやせん

こいコリヤこうぐやコンこうこるこいこうこもゆこ伝ハこうこ
のーこんーこ途中で船のこうこうこうこ川ふるこつこ
ぐでもあぐこ川こうこあうぐこ川さうぐでぐうやこと
ソレハこんせこうこうこうこのこうこ船ふもあの用あぐうかつこ
人ぐたこあいかつこぐやこて船ぐ出こうこうこうこ
こ人てのうあうこその附こちんこもハこりこ船このぐりう
船こうこうちぐこめんこの家こて出こ船こうこうこのこ
こ稲のこうこんこりめこてるあうこぐこの川ハこ二さやこうこぐこぐ

ものせうこうもちろんも船よの川と時ぺらぐりでんあっー。
そうちぐてくこんちくぐでゆーこ茶ごとうもちがみことうそで
ぎんゆーこが。茶合のそぐりまーのうんとそんなうふこと
びれまぎれよッイ稲て茶ひゆーでんさこーへ来てえん
ゆそ。茶合のこんのうちよんを川さくらびとんも稲へ
ハゆーぎるてぐーらいていゆーこのさ稲そふいへべちる
かぐ今のさんの船のあぐり場でハテんさよるるぬぐこと
おりいゆーこぐんさとぐこあるこぐりの初るのみーこぐりの

くく必まとれゆへおまくこのつくこと上ちくらのぐこ考て
そそ茶おくてーゆーこ上れでりのぐさちぐ上ちくこ稲ヤ
ヨとうるこ。ア上れこうおいくぐつくこんぐぶーこちふこれも
ヨとうんてある上いる。おまいくこのあゆくんこ上り紅こ。
つくこまちくうのこんで。今上ハこおきこのハけんやる。考ー
きぐこくぐうくくおまいぐを。こう稲そるよぐこんな
くくゆんんぐゆるあんこいゆへんまーいへまくよ。ぐよまる
かんぐ。かるハ相まるれてるくこんこで包ハ

の用ん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

石屋葺の紙づくどろも紙
ちゃき
金ぞのさしこ。蒔ごよ牧ぞめ。つちざいく細工と蒔ふろ蒔ぞ
やきもの牛の細工と牧ろ人も
よごれ　ろろしてぞんろれとそきれ
ろくて蒔のもろふいてろりろるよ
稲蒔山松のふぐりまかきろ
ふぐ〜のさぐろ蒔のすりろる
ろふいちろの社とふ〜おぐろつ〜ナントろとろで

一ふ〜やろうおやア紙へろ一よろろふく〜トよろぐそろけ
ろちゃろまる
蒔ろて〜ヤあまぎけげあるのぞあきん一ふぞいろんな
ハイり〜ぬろてあぎよろいなコウ紙きんこてのぞあ
さんがおぞよろげあるとぞてアレとろちぞろうぞんて
おろ〜ろ同ろ紙とまろアハぞろアいへぞあきんぞふぐ。
ナやくんろ蒔まちハ〜まハておろれんろいろ〜ひつて紙ぞ紙
ぞ〜のろんをぞぞんきんぞんきんぞ紙ぞ蒔ぞ
ろきまるゆへろぐきよおろれ一ぞあきんぞぞ〜こんおめ目が
ぞろいのろ紙ぞ日〜やまいのろやとぞていろうろまろう

てちやうこんといふ所ゝりやうぞふしてゝわアりゝへこらうへかゝゝい
ぞあまさん。他ぐかるゝしい所ゝゝやゝあいぐぶゝしゝうのむまことと
うゝちやうこぐ。そのむをとふアりおうこぐ仕ことそそりゝくゝ
張ハア。かいゝふ仕ことゝ。それじやアおめゝのむまをこもつて男
でまつこちうふ。おゝいことをゝゝさ所ゝソレそのぞうまんぐゝ乃
ものいひゝう。おまいのまうふ。あゝゝあゝいろちやぐあつて。
色ぐゝらふて。まゝハ他ゝゝ年ゝゝやゝで。見のいろゝい赤
すぐぐ。そまゝゝじやゝいるゝゝゝ所ゝゝやアゝろちぐ新の

ゝるゝ仕ふまぞうぐよゝゝ仕ことの所ゝいおだうもきぐつるく
いゝふいゝゝうも他ゝもせんゝものと所ゝそれたうおやちやん
ゝいの。アノ行少年ゝのまぐげさんゝゝ手まぐぐ。おゝいわも
ふるものゝいゝ人ゝの新の。宿ふろゝゝぐまんぐゝう。そ。
をそそゝくゝんゝ所ゝゝゝんふゝそゝ所ゝゝとれゝゝゝいるゝトちやゝうんやゝうゝふあ
きゝいぐまゝきゝ所ゝゝぐゝこれとのんで所ゝぐゝうぐまゝ所ゝうまゝ
ぐゝうぐこれとのんで所ゝぐゝうまゝ所ゝうまゝ所ゝうまゝ
ゝゝゝこぐやあゝ。ゝゝやゝゝ所ゝゝうまゝ所ゝうまゝ所ゝうまゝ
おゝゝゝこゝいゝ所ゝゝゝんぐゝこと。減ぐゝそのゝゝ

[illegible]

おとやせんう[illegible]やはるさるこゝろ。三ぢくちゝや

さういなるあくとうぶれとひとつよ。その中へおもしろ

こいなぢ[illegible]こゝりやちゝきけるいこをいふこいもよ

のあ夜[illegible]あるアつのの人だ者まつこいめへまいいさいふ

[illegible]あさんいうゝぶ川イ[illegible]ぶんせへちだるち

おまけぶのアイおせへぺつくーちとこちぬて

ちゝうるぶら

ちゝとゝふちゝとゝぶとまぜて[illegible]おもも

まゝ王こんぶるうぶ あはざけ

かゝてちゝくへほゝまゝせてゝぶうゆくほどゝよ。

ぶんぶゝこゝやとちゝくちゝうて陸乗さてふ船しく

人のあうぶゝも自然うゝ温飛ふゝて。ちゝも[illegible]性質

ちゝるさゝる女のよゝほひよゝうゝぬゝて月ゝとれゝ

うちゝまゝやくゝもたゝ佛まゝよゝうゝて[illegible]ぶゝくゝぶゝもゝゝ

おゝまゝぶアし山門のうゝくゝ佛さゝぶのゝをひゝるる[illegible]

これゝがゝらのたゝ佛ぶゝへちゝるゝぶゝまゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

てゐるものぞ。そこでこの石とりのぞくや

大佛の侍者を雲に入しこそ

さられハちまきるかのし天上

かくようそこの門のうちへ。やがてはまぶのぐりをる

道中膝栗毛六編上編終